平成24年度当初予算

主 要 事 業

福井県教育委員会

~ 事業内容の見方について ~

事業名称の先頭に

- 「勧」とあるのは、24年度当初予算の新規事業です。
- 「働」とあるのは、24年度当初予算において事業内容の拡充を行った事業です。

福井新々元気宣言の実現

予 算 額 [23 年度 6 月現計予算額] (単位:千円)

1 元気な社会

(1)日本のモデル「福井の教育」

◇夢と希望を育てる学校

⑩ 幼児教育推進事業(部局連携:教育庁義務教育課、健康福祉部子ども家庭課)

13,731 [1.696]

人間形成の基礎を培う上で大切な幼児教育のあり方等を検討し、家庭、保育所・幼稚園・ 小学校、地域の連携を図ります。

事業内容 🗑 幼児教育キャリアアップシステムの創設

- ❸ 保育所・幼稚園と小学校の円滑な接続のためのカリキュラム指針策定
- 毎 家庭教育支援センターをモデルとして2園に設置
- 一日保育体験の推進による家庭教育力の向上

<児童・生徒の学力向上>

日本一の小・中学校の学力をさらに伸ばすとともに、高校の学力向上や授業内容の改善により、確かな学力を育みます。

少人数教育による学力向上事業(教育庁義務教育課、学校教育振興課)

3.251.117

小・中学校において、「新笑顔プラン」で進めてきた県独自の少人数学級編制等を引き続き [3,420,899] 実施し、児童・生徒の学力向上を図ります。さらに、23年度の小学校1年生の学級編制基準見直しを受け、2年生を新たに35人学級とします。

		1学級の児童数の上限					1学級の生徒数の上限		
小	学年	19 年度~	23 年度	24 年度	中	学年	19 年度~	23年度	24年度
学	1年	40 人	35 人	35 人	学	1年	30 人	30 人	30 人
校	2年	40 人	40 人匚	<u>35 人</u>	校	2年	36 人	32 人	32 人
	3年	40 人	40 人	40 人		3年	36 人	32 人	32 人
	4年	40 人	40 人	40 人					
	5年	40 人	36 人	36 人					
	6年	36 人	36 人	36 人					

※小学校の30人を超える学級に3年生以上は教員、1・2年生は支援員を配置

一切 中学校英数学力向上事業 (教育庁義務教育課、学校教育振興課)

98,000 [—]

理解の程度の差が大きくなりやすい英語と数学に、習熟度に応じた少人数指導体制を導入し、基礎学力の向上を進めるとともに、理解度の高い生徒の応用力を高めます。

励 高校生学力向上推進事業 (教育庁高校教育課)

27.478

教員の指導力向上や生徒の視点に立った指導法の改善等により、生徒の学習意欲を高め、 [24,687] 確かな学力を育みます。

事業内容 大学進学希望者の学力向上を支援(特別講座、体験入学等)

- 外部の有識者を招いた授業研究会での助言等による授業改善
- ₩ 土曜チャレンジセミナーを2年生まで拡充し物理・化学を追加
- ❸ 生徒の学習意欲調査・学習状況調査を分析し学力向上に反映

<語学教育の強化>

グローバル化が進む中で、ますます重要度を増す英語と中国語について、聞く・話す力を中心に語学教育を充実します。

一 英語力向上事業(教育庁高校教育課、義務教育課)

70,389 [32,190]

授業以外で英語に触れる機会を増加させるとともに、海外語学研修等の実践的なプログラムにより、英語コミュニケーション能力を伸ばし、国際的に活躍する人材を育成します。

事業内容 日常的なリスニング機会の充実(イングリッシュシャワー)

● NHKと連携した新たな英語テキストの開発・活用

生徒のTOEIC受験や海外語学研修の実施

高校生英語ディベート大会や英語キャンプの開催

● 教員(16人)の海外研修など4校の拠点校を中心に指導方法改善

甸 中国語教育推進事業 (教育庁高校教育課)

1,894

中国語教育の充実のため、生徒の研修等を支援します。

事業内容 NHKラジオ等を活用した音声学習の充実

スピーチコンテスト等の全国大会に参加する生徒の支援

海外語学研修の実施(5人)

<サイエンス教育の推進>

高校生の理数科目に対する興味・関心を高めるとともに、知的探究心を伸ばすための生徒の研究活動等を支援します。

スーパーサイエンスクラブ設置事業(教育庁高校教育課)

5,231 [3,791]

大学や研究機関と連携し、実験等を行うスーパーサイエンスクラブを設置し、高校生の知的探究心を伸ばす活動を支援します。

事業内容 高校の科学部が実施する実験・課題研究等の支援

(1校あたり300千円 6校指定)

大学等から各クラブへのアドバイザー派遣、研究発表会の開催

事業期間 23~25年度

目指せ 全国科学オリンピック事業 (教育庁高校教育課)

1,285

中高生の理数科目に対する興味・関心を高めるとともに、高校生の全国科学オリンピッ [1,285] ク等への参加を支援し、サイエンス教育を推進します。

事業内容 全国科学オリンピック等への参加促進や代表生徒への支援 中高生に対する「ふくい理数グランプリ」の開催 事業期間 23~26年度

<特色ある教育の推進>

子どもの夢、希望や挑戦する力を育てる本県独自の特色ある教育を推進します。

夢や希望を育む教育活動推進事業(教育庁義務教育課)

2,477 [2,564]

学校や生活での体験等を記録し振り返るなど、発達段階に応じたキャリア教育を実施し、 夢や目標を持ち、意欲的に挑戦しようとする子どもを育成します。

事業内容 小・中学生が自分の体験や考えを記録し、振り返る「夢カルテ」を活用 第一線で活躍するプロフェッショナルを講師とした講演会の開催

❸ 小中学生の嶺南・嶺北交流事業(教育庁義務教育課)

1.302

26年度の舞鶴若狭自動車道の全線開通により、利便性が高まる嶺南・嶺北の間の小中学生の地域間交流を拡大します。

[-]

事業内容 遠足や体験活動、校外学習における嶺南、嶺北間のモデルコースの検証 (小学校4校、中学校2校)

今後の交流プログラムや効果的なモデルコースの検討

事業期間 24~25年度

⊕ 白川文字学の推進 (教育庁生涯学習課、義務教育課)

8,576 [9,288]

故白川静博士が確立した白川文字学を活用した本県独自の漢字学習を小学校で実施する とともに、子どもから大人まで楽しく漢字を学ぶ白川文字学の普及促進を図ります。

事業内容 新漢字学習カリキュラムに基づく副読本の作成

教員を中心とした漢字学指導者養成講座等の開催

漢字文化講座や地域への出前講座等の開催

劒 東京都内での漢字教室の開催

◇次をめざす教育の充実

<教員の指導力の向上>

学力向上の中心となる教員の授業力を高めるため、教員の研修の強化やICTを活用した指導力の向上を行います。

敏 教員指導力向上奨励事業 (教育庁高校教育課、義務教育課)

7,885 [—]

学校の中心となって指導力の向上を進めるための教職大学院での研修など、教員が個人 やグループで行う研究活動等を支援します。

財 源 福井県教員指導力向上基金

元気ふくいっ子学力向上推進事業(教育庁義務教育課)

12,349

県独自の学力テストを実施するとともに、授業名人など学校の中核となる教員の公開授 [12,171] 業などを通して、若手教員の指導能力を高めます。

事業内容 県学力調査の実施

(小学校5年生と中学校2年生の全員が対象、県独自の応用問題を作成) 授業名人や中核教員による公開授業等の実施(全研究指定校28校)

事業期間 22~26年度

❸ 小学校教員理科指導力向上事業 (教育庁義務教育課)

1.163

小学校の理科実験に関する指導方法の研究や教員に対する研修を行い、教員の指導力を 高めます。 [—]

事業内容 小学校教員の理科の指導力向上研修 中学校教員が参画した観察・実験指導集の作成

毎 算数W e b システム活用事業 (教育庁義務教育課)

3.207

小学校の算数において、ICTを活用して単元ごとの児童の理解度を相対的に比較する システムを開発し、授業の改善を行います。 [-]

事業内容 小学校1~6年の単元ごとの評価問題の作成 設問ごとに県平均との分析を行い、個別指導や補充学習で活用

爾 職業系学科教員授業力向上事業 (教育庁高校教育課)

1.692

工業、農業系教員の指導力の向上を図ります。

[-]

事業内容 県内企業や試験研究機関での短期研修等

<職業教育の充実>

職業系高校の教育内容の充実により、社会から求められる人材を育みます。

85,199

職業系高校と産業界の連携を強め、社会のニーズや技術の進展に対応した教育の充実を図ります。

[-]

事業内容 職業系学科の授業カリキュラム等に産業界等の意見を反映

実践的な長期企業実習(2週間)の実施

生徒に対するキャリア教育など社会人基礎力の育成

企業現場の水準に応じた機械設備の導入

酚 職業系生徒発 実習・学習成果発表事業(教育庁高校教育課)

2,543 [—]

職業系高校の生徒の学習内容について、競い合う場を設け、学習意欲の向上を図ります。 事業内容 全国大会入賞に向けた県大会や課題研究発表会の開催

奥越明成高校環境整備事業 (教育庁学校教育振興課)

171,518

23年4月に開校した奥越明成高校において、カリキュラムに応じた施設・設備の整備 [194,282] を引き続き行います。

事業内容 旧実習棟の解体、連絡廊下整備、

ビジネス情報科・生活福祉科の教室改修と設備移設

事業期間 22~24年度

財 源 電源交付金

◇日本の教育センター福井

<きめ細やかな不登校対策>

不登校の未然防止や不登校児童・生徒の早期学校復帰、高校中退者等の高校卒業資格の取得支援など、きめ細かな対策を実施します。

スクールカウンセラー配置事業(教育庁高校教育課、義務教育課)

97,920

臨床心理士等を配置し、児童・生徒の心の悩み相談に対応します。

[97,976]

配置校 小学校(45校)、中学校(全74校)定時制高校(全7校)※ 全日制高校については、専任教員を配置

財 源 県2/3 国1/3

スクールソーシャルワーカー配置事業(教育庁高校教育課、義務教育課)

14,874

社会福祉士等を配置し、不登校等の児童・生徒の家庭環境への働きかけを実施します。 配置場所 小中学校(全市町) [14,634]

定時制高校(全7校)※全日制高校については、専任教員を配置

財 源 県2/3 国1/3

フリースクール支援事業(教育庁教育政策課)

1,000 [1,000]

高卒資格取得が可能なフリースクールを支援し、高校中退者等の自立促進を図ります。 事業内容 NPO法人等が運営するフリースクールの野外活動・体験活動やスクー

ルカウンセラー配置の経費等への助成

補助限度額 100万円

事業期間 22~24年度

<特別支援教育の充実>

就学前から学校の児童・生徒までの本県独自の支援施策を確立するなど、特別支援教育を充実します。

75,993 [6,778]

発達障害児の早期発見・早期支援により、スムーズに就学期に移行して教育を受けられるよう福井県方式による支援体制を確立するとともに、小・中学校の通常学級における発達障害児等への支援を強化します。

事業内容 発達障害者支援体制整備検討委員会の開催

- ❸ 保育所・幼稚園から小学校への引継ぎに係る市町のモデル事業の実施
- 発達障害に関する評価シートの共同開発
- ●「若狭町子ども・若者サポートセンター (仮称)」の開設への支援
- 動 教育上の配慮が必要な「気になる子」が複数いる学級へ非常勤講師派遣 特別支援学校教諭免許の取得促進

財 源 国庫等

奥越地区特別支援学校(仮称)建設事業(教育庁学校教育振興課、高校教育課)

1,998,951 [285,354]

25年4月開校予定の奥越地区特別支援学校(仮称)について、体育館など勝山南高校 の施設の一部を有効活用するとともに、省エネ対策等の環境に配慮した整備をします。

〈債務負担行為〉 〈191,313〉

事業内容 建設工事(23~25年度)

エコ化整備(太陽光発電、断熱材、複層ガラス、LED照明、雨水利用等)

総事業費 2,478百万円

事業期間 22~25年度

(2) すぐれた医療と支えあいの福祉

◇さらに高まる医療水準

くこころとからだの健康づくり>

生涯健康であるために、子どもから高齢者まで県民全体の健康づくりを推進します。

⇒ 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業 (部局連携:健康福祉部健康増進課、教育庁スポーツ保健課)

6,297 [—]

子どもの目と歯の健康づくりを推進します。

事業内容 子どもの目の健康プロジェクト事業

遺伝的な要因や生活習慣と近視の進行との関連性についての調査 学校と眼科専門医等との連携による近視予防対策の推進(5校) 学校保健指導の一環として近視予防運動を実施

子どもの歯の健康プロジェクト事業

保育所、幼稚園の施設管理者、保育士などに対する歯磨きや間食指導保育所、幼稚園におけるフッ化物洗口の実施(50施設) 公立小学校1・2年生全員に対する歯垢染色剤を用いた歯磨き教室

財 源 国庫等

(3) 若者のチャレンジと女性の活躍を応援

◇子どもがたくさん、家族を応援

₩ 放課後子どもクラブ応援事業 (部局連携:教育庁義務教育課、健康福祉部子ども家庭課)

490,971 [492,147]

放課後児童クラブと放課後子ども教室を「放課後子どもクラブ」として一体的に運営し、子どもが安心して放課後を過ごすことができる環境を整備します。特に、6年生まで受け入れる施設の整備について拡充して支援します。

支援対象		通常の支援措置	県の追加支援措置			
運	20人	県1/3 国1/3 市町1/3	4年生以上または留守家庭以外の児童の受			
営	以上		け入れ 1人あたり 7.5 千円 (1/6 相当)			
費	20人	なし	県 1/2 市町 1/2			
	未満					
整備費		県1/3 国1/3 市町1/3	❸ 6年生まで受け入れる施設の新設(児童			
			館除く) 県1/2 国1/3 市町1/6			

(4) 日本一の安全・安心(治安向上から治安実感へ)

◇地震・異常気象・災害などに迅速対応

<地震や津波などへの防災力の強化>

地震や津波などに対する防災力の強化を図ります。

❸ 学校安全防災推進事業(教育庁スポーツ保健課)

5,600 [—]

地震や津波、台風等の大規模な自然災害に備えるため、学校の安全体制を強化します。 事業内容 国の策定する指針等をもとに防災教育の手引きを策定 緊急地震速報装置や外部アドバイザーの活用による避難訓練を実施 各校が整備している避難訓練マニュアルに手引きや訓練の成果を反映

<施設等の耐震化促進>

福井県建築物耐震改修促進計画に基づき、県有施設の耐震化を進めます。

県立学校の耐震化(教育庁学校教育振興課)

449,962

耐震補強計画策定、実施設計 9 棟 耐震補強工事 8 棟 [1,458,424]

予 算 額 [23 年度 6 月現計予算額] (単位:千円)

2 元気な県政

(1) 国体めざす県民スポーツ、生活のなかに楽しむ 県民文化

◇飛躍する福井のスポーツ

<国体に向けた競技力の向上等>

平成30年の第73回国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の開催に向け、競技力向 上対策や開催準備を行います。

励 競技力向上対策事業 (教育庁スポーツ保健課)

272,000 [220,000]

国民体育大会や各種スポーツ大会に向けて、計画的に選手強化対策等を実施し、ジュニア層から指導者までを育成します。

事業内容 動強化に必要な備品整備の支援

- 各競技ごとの県内外合宿、中高生選手に対する支援強化
- ₩ スポーツ医・科学を活用した選手の支援強化

事業期間 23~30年度

財源 スポーツふくい基金、一般

毎 国体開催準備事業(教育庁スポーツ保健課)

28,188

国体準備委員会において、平成30年の第73回国民体育大会の開催に向けた準備・検 [12,249] 討を進めます。

事業内容 劒 中央競技団体の正規視察の受入れ

- **劒** 大会愛称・スローガンの制定、マスコットの募集
- 新競技団体の開催準備への支援

財 源 スポーツふくい基金

全国高等学校総合体育大会開催事業(教育庁スポーツ保健課)

109,525

北信越5県で全国高等学校総合体育大会を開催します。

[4,850]

本県開催種目 バドミントン、なぎなた、体操・新体操、ホッケー

開催期間 7月下旬~8月上旬

<体育施設の整備>

国体の競技会場や選手強化の拠点となる県立体育施設を整備し、あわせて県民スポーツの普及・振興を図ります。

県立ホッケー場整備事業(教育庁スポーツ保健課)

139,868

国体や全国高等学校総合体育大会等の選手強化の拠点として、県立ホッケー場を改修し [28,000]ます。

事業内容 摩耗や損傷が著しい人工芝の張替

財 源 共生交付金

県立クレー射撃場環境対策整備事業(教育庁スポーツ保健課)

26,500 [17,100]

国体等の選手強化と有害鳥獣駆除に従事する猟友会会員等の射撃技能の維持向上のための拠点として、県立クレー射撃場の再開に向けた整備の実施設計等を行います。

事業内容 実施設計

財 源 電源交付金

毎 県立久々子湖漕艇場・ボートハウス整備事業(教育庁スポーツ保健課)

7.600

国体や全国高等学校総合体育大会等の選手強化の拠点として、県立久々子湖漕艇場・ボ [一] ートハウスの整備に向けた基本設計を行います。

事業内容 基本設計、整備検討委員会の開催

財 源 共生交付金

◇生活に福井の文化

<文化施設のレベルアップ>

施設整備の促進や情報提供の強化などにより、来訪者の増加と利便性の向上を図ります。

毎 一乗谷朝倉氏遺跡レベルアップ事業 (教育庁文化課)

9,188

一乗谷朝倉氏遺跡への来訪者に対する情報提供や利便性の向上により、遺跡全体の魅力を高めます。

(雇用基金事業) (3,954) [___]

事業内容 遺跡が広く眺望できる展望地点「物見台」の整備

一乗谷朝倉氏遺跡資料館の大型看板の設置

福井市と連携したシャトルバスの運行(休日に資料館と遺跡内を8往復) 来訪者に対する資料館や遺跡周辺の総合案内の実施(緊急雇用基金)

今後の文化遺産や観光拠点としての活用についての調査・検討

鈖 若狭歴史民俗資料館リフレッシュ事業(教育庁文化課)

3,536

26年度の舞鶴若狭自動車道の全線開通に合わせ、施設の展示更新やバリアフリー化な [—] どの改修を行います。

事業内容 展示基本設計、県内外からの来訪者への地域の案内機能の充実

事業期間 24~26年度

総事業費 446百万円

財 源 共生交付金

<文化財の保全・整備の促進>

地域の貴重な文化財の指定促進や保護を図ります。

歴史・文化のまちづくり事業 (教育庁文化課)

52,092 [57,282]

地域の中核的な文化財の整備を集中的に進めることにより、地域の文化遺産を活かした 個性的で魅力あるまちづくりを支援します。

事業内容 史跡等の保全・整備(一乗谷朝倉氏遺跡、白山平泉寺、丸岡城) 重要伝統的建造物群保存地区整備(小浜市小浜西組、若狭町熊川宿)

魵 ふるさとの文化財記録調査事業 (教育庁文化課)

5,289

地域の文化財の記録、調査により、国に指定を働きかけ、貴重な文化財の保護を進めます。

[—]

事業内容 県内の祭り・行事の総合調査、名勝庭園の測量調査

<子どもたちの文化体験の充実>

子どもたちが芸術・文化に触れるとともに、野外体験活動等を通じて、豊かな心を醸成します。

毎 子どもたちの芸術・文化体験交流事業 (教育庁文化課)

25,968

子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を増やすとともに、美術および音楽分野の 活動の質を向上させることにより、将来の福井文化の担い手を育成します。 [20,455]

事業内容 県内の多様な文化活動者を地域に派遣する子ども文化塾開催 (100回) 美術館・博物館での鑑賞・創作体験プログラム、学校での鑑賞会開催 県内弦楽器人口の拡大に向けた小・中学校における弦楽指導のモデル実施 美術作家を目指す高校生や若手が一流作家から学べる教室の開催 の鑑賞会を幼児とその保護者、小学生を対象に開催 (10ヶ所)

事業期間 23~26年度

ふれあい文化子どもスクール開催事業 (教育庁文化課)

31,422

[31422,]

県内の小学校5年生(約8千人)を対象に、本格的な参加体験型コンサートと併せて県立文化施設での体験授業を行い、子どもたちの感性や豊かな心を醸成し、福井の文化やふるさとに対する理解と関心を高めます。

事業内容 オーケストラとのふれあいコンサート

開催場所 県立音楽堂

出演者 プロオーケストラ、本県出身若手演奏家等

文化施設での体験授業

対象施設 美術館、歴史博物館、こども歴史文化館、恐竜博物館等

事業期間 22~24年度

こども歴史文化館展示強化事業 (教育庁生涯学習課)

13.324

こども歴史文化館において、福井ゆかりの人物の生き方や業績についての展示等を充実 し、子どもたちの理解や関心を高めます。 (雇用基金事業) (3,864)

事業内容 特集展の開催(松旭斎天一没後100年展示等)

常設展パネルの充実(石塚左玄、佐々木長淳・忠次郎親子等)

[13,135]

★ 青少年体験活動施設整備事業 (教育庁生涯学習課)

5,400 [—]

小中学生の野外体験や長期集団宿泊を中心とした体験活動施設として、芦原青年の家の施設整備の基本計画を策定します。

事業内容 策定委員会による基本計画案の策定

<文化活動の振興>

県民が文化や芸術に親しみ、ふるさとの文化や文学に触れることで、福井の文化を育て ていきます。

ふくい県民総合文化祭開催事業 (教育庁文化課)

12,198 [13,554]

県民が広く文化・芸術に親しみ、楽しみ、学ぶことができるよう、日ごろの文化活動の 成果を発表する機会を提供し、県民の文化への関心を高めます。

事業内容 ふれあいフェスティバルの開催等

芸術文化活動推進事業 (教育庁文化課)

14.878

先進的・創造的な芸術文化活動や地域独自の文化を保存・活用する活動を支援し、文化 [16,971] 団体や担い手を育成します。

事業内容 地域の特色ある文化を生かしたまちづくりの支援

子どもたちによる伝統文化の継承・保存や芸術文化の活動支援 若手活動者等が実施するヤングアートフェスティバルの支援 国内外に福井の文化を発信する事業の支援

❸ 福井ふるさと文学館(仮称)整備事業(教育庁生涯学習課)

10,550 [1,300]

県立図書館の郷土・環日本海コーナーを改修・再編することにより、県民が郷土文学に 触れる機会を増やし、文芸活動の活発化を図ります。

事業内容 基本計画案の策定と幅広い分野の資料の収集